

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	創造演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0092		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械電気工学科		対象学年		3		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	なし(適時プリント配布)						
担当教員	鈴木 厚行,大西 祥作						
到達目標							
自ら学ぶ習慣を身につけ、課題を見いだす力・問題解決力・発想力・情報収集力・まとめる力・表現力を鍛える。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目		自ら学ぶ習慣を身につけ、課題を見いだす力・問題解決力・発想力・情報収集力・まとめる力・表現力が身につけていること。		自ら学ぶ習慣を身につけ、課題を見いだす力・問題解決力・発想力・情報収集力・まとめる力・表現力の大切さを理解しその一部が身につけていること。		自ら学ぶ習慣を身につけ、課題を見いだす力・問題解決力・発想力・情報収集力・まとめる力・表現力の大切さは理解しているが、その一部においても身につけていない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 C 2							
教育方法等							
概要		技術者にとって創造力を身につけることは極めて重要である。本授業は発想法などについての講義や演習を通して創造力を育成する。自ら考えて問題を認識・解決する能力を磨くとともに情報収集力や表現力を磨くことを目標とする。この科目は企業で知財管理・製品開発プロジェクト・研究開発をしていた教員が、その経験を生かして演習形式で授業を行うものである。					
授業の進め方・方法		発想法や情報の検索方法などについて説明し、アイデアを創出させる。アイデアについてプレゼンテーションさせ、発明説明書にまとめさせる。また、グループワークも行う。指定するテーマに沿ったアイデアを創出させ、ブレインストーミング等によってアイデアを更に深めさせる。資料は適宜配布する。なお、報告書としてアイデア用紙・発明説明書・学習シートなどを提出させる。 【授業計画】 (1) 発想法について (2) 情報検索方法について（従来技術調査等） (3) 課題探し (4) アイディア用紙の作成 (5) スライドの作成 (6) プレゼンテーション（個人アイデア） (7) 発明説明書の作成 (8) 個人でのアイデア出し (9) グループワーク（ブレインストーミング・スライド作成等） (10) プレゼンテーション（グループアイデア）					
注意点		関連科目： 創造演習I、創造製作I、創造製作II、工業所有権、ベンチャービジネス論、工学セミナー、卒業研究（自己提案型卒業研究）など					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	創造演習			自ら学ぶ習慣を身につけ、課題を見いだす力・問題解決力・発想力・情報収集力・まとめる力・表現力が身に付くこと。	
		2週	創造演習				
		3週	創造演習				
		4週	創造演習				
		5週	創造演習				
		6週	創造演習				
		7週	創造演習				
		8週	創造演習				
	2ndQ	9週	創造演習				
		10週	創造演習				
		11週	創造演習				
		12週	創造演習				
		13週	創造演習				
		14週	創造演習				
		15週	創造演習				
		16週	創造演習				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	報告書（アイディア用紙、発明説明書・学習シートなど）	合計
総合評価割合	0	30	0	0	0	0	70	100
総合評価	0	30	0	0	0	0	70	100
	0	0	0	0	0	0	0	0